

第4回 江戸川区立図書館基本計画検討委員会 議事録要旨

日時：令和5年12月1日（金）

午後2時00分～4時05分

場所：江戸川区立中央図書館 視聴覚ホール

1 開会

2 議事

(1) 基本計画案の検討

・（仮称）江戸川区立図書館基本計画（案）にもとづき安田（健）委員より提案。

・委員による意見交換

<各委員の主な意見>

- 図書館やサテライトの配置に、大きな道路と河川の区切りによって偏りがある。川、線路、大きな通りを通らずに利用できる区の公共施設がコミュニティ会館しかない子どもたちがいる。今後読書のステップにつながることをするというのなら、もうちょっと細かい範囲にサテライトを増やしていけるといい。小学校は、時間とかいろいろな縛りがあると思う。コミュニティ会館などの、土日も職員が受付等にいる施設で、小さな本棚で本を選んだり、返したり借りたりできると良い。子ども読書活動推進に関わる施設として、コミュニティ会館を入れていただけると嬉しい。「この場所だったら知っている」となると思う。
- 日本語以外で大人と対話できる職員の育成を加えてはどうか。小学校や幼稚園で、子どもとは日本語でやりとりができるが、保護者に日本語が通じないというお話を時々きく。また、同時通訳ができるタブレットみたいなものとかもあると良い。
- 図書館サテライトがどの程度のことをやっているのか、どこかに示したほうがいい。初めて見た人は、どういうことができるのか、わからないと思う。
- わかりやすく書いてある。難しい図書館用語みたいなものはない。ただ、横文字が多いので、後ろのほうに用語集みたいなものを付けたほうがいい。
- 何かやりたいときに、昔は組織に属しないとなかなかできなかったが、今はどんな趣味でも同じ趣味の人が集まってやれる環境が整っている。本にこだわっているとあまり発展しない。多目的な建物に模様替えするとか、そういう観点も必要ではないか。
- コンビニをどう活用するか。うまくつなげられると、便利になると思う。
- 子どもを本好きにするのは、やっぱり生まれたときである。幼児のときに絵本を読み聞かせるのが良い。これがないと、小学校、中学校になって、本は大切だと言ってもなかなか難しいのではないか。

- 保育園の子たちが決められた日に図書館に行って、少しぐらい声を出してもいいから、本を選んだりすることができれば、小学生になっても図書館に来てくれるようになるのではないか。
- 子どもたちにとって、知っている場所、人ということでハードルが下がる。保育園のときからよく来ている場所となっていれば、足を運ぶことになるのではないか。
- 子どもたちが本に親しむには、本にアクセスするハードルをどれだけ下げられるかにかかるとあるが、子どもたちが興味を持っているキーワードなどを入力すると、こんな本がある、タップすればすぐ借りられる、学校に届くというような形になれば、本に触れる機会が増えるのではないか。
- 具体的取組例に「楽しい体験イベント」がある。出前授業は子どもたちがすごく興味を持つ。学校に来てそういう楽しいイベントをやっていただいて、図書館でもやっていると言ったら、行ってみようとなる可能性が高い。
- 学習コンテンツの提供とあるが、教科書に沿ったコンテンツを作っていただいて、その本は借りられるとなるといいのではないか。
- 読書の時間に保護者や地域の方に読み聞かせをしていただくと、子どもたちは楽しそうにきいている。ここをタップすればその本を借りられるとなったら、借りたい、読みたいとなると思う。きっかけを与えてもらってもすぐその本に触れることができないと読書の機会を逸してしまう。
- 読み聞かせをしている方のグループが活用できる情報提供の場を作って、この本を読んでみたらこういうところで良い反応があったとか、こういう本がおすすめだとかの情報があると、ボランティアで関わってくださっている方の選書などの助けにもなると思う。
- 学校教育の状況に応じた学校連携であるが、教員の手間を減らすことが一番貸出増につながると思う。教員、学校向けのパッケージを作って、貸していただくのが一番楽だし、貸出数も確実に伸びていく。朝読書に使えるようなそれぞれの学年向けのパッケージでもいいし、教科書に沿ったものでもいい。教員が依頼すれば届くという形で手間を減らし、簡単にアクセスできる形で子どもたちの周りにいろいろな種類の本があることが、一番子どもの読書環境の改善につながる。
- コンビニや空き家などを利用し、就労する方もいて、町会とかいろいろなところが活発になり、図書がいつもある「なごみのこべや」みたいなものができるといい。遠くの図書館まで行かなくても、そんなに心配なく子どもが自由に行ったり来たりできる場所があればいいなと思う。
- Wi-Fi があり、パソコンがあり、会場があれば、デジタルデバイス対応として講座が開ける。これから熟年者がデジタル難民になっていくので、熟年者も足を運ぶ図書館になるのではないか。そこで若い人と交流できるというようなことも考えられ、人が集まる場所になるのではないか。そういった拠点にもなっていただきたい。

- 読み物以外の勉強に使える低学年向けの本は増えているがまだ足りない。公共図書館でそろえてくれと言っても無理があるのが現状である。また、学校図書館も予算がついて、江戸川区は読書科があるのでそんなに少なくないはず。特に小学校は学習に使うような本は学校でもそろえていく努力も必要だと思う。公共図書館全校に貸せるだけの本はない。学校の指導内容は同時進行なので、まわしきれない。ましてや江戸川区は学校数が多い。必要なものは学校図書館でもそろえる必要がある。そのうえお互いに連携する必要がある。
- 具体的取組例に「ビブリオバトルなど、子どもたち同士で読書の楽しさを広めよう活動」とある。ビブリオバトルは人気で、否定しないが、教育的な視点から「バトル」（闘い）という言葉は挙げていいのか気になる。
- 江戸川区立図書館は12館だが学校は100校以上ある。それぞれの学校にそれなりの蔵書があるわけで学校図書館をもっとうまく活用できないか。もうちょっとうまく開放したり、常にアクセスできれば、子どもがもっと本を手にとれる環境が作れ、それが一番やりやすいのではないか。セキュリティ上の問題などがあると思うが、学校の先生以外の方が入って管理するなど、うまく発展させることはできないか。
- 「区立図書館の姿」として「みんなが」「便利に」「楽しく」「つながる」「頼りになる」とあり、これらがどう結びつくか考えた。図書館は、本、情報とかそういったもので、本は人によりそって存続してきていて、人に対して働きかけをすることも。その中で一番重要なのは、心の問題だと思う。図書館は、区の施設の中では唯一、区民の心によりそって、一人一人の成長を促す。子どもは言葉を覚える。高齢者は老後のいろいろな楽しみを見つけ出す。困ったときには本を手にして生きる力を得る。だからこの真ん中に、区民の心の成長を支える、あるいは心のよりどころになる図書館というような言葉を入れるとよいのではないか。
- みんなが集う空間を作るのは難しい。区民から作り変えてほしいという意欲が出てこないとなかなか変わっていかない。今回の計画は2030年までだが、この先のステップも考えてほしい。これからの図書館は、本を中心に人々が集って、いろいろと語りあったり、グループを作ったり、交流する。そこに情報が入ってくる。2030年の先にそういう場ができあがっていけば、江戸川区の図書館はもっと人が集まって、利用も増えるのではないかと思う。

・ 計画案の承認

検討委員会より、本計画案の内容で進めて良いと承認された。

本日の意見交換の内容を反映し、事務局で区民への意見募集を実施する。

(2) 基本計画のタイトルの検討

- ・ 計画のタイトルについて、事務局案①～④を安田（健）委員より提示。

① 2030年の図書館～共生社会の実現をめざして～

② 江戸川区立図書館基本計画～共生社会の中の図書館をめざして～

③ 図書館×共生社会～みんなが、楽しく、便利に、つながる～

④ 知のテーマパーク「としょかん」へ行こう！～みんなが楽しく集える図書館を目指して～

・委員による意見交換

<各委員の主な意見>

- ③とか④のような書き方をされるのであれば、「心」「区民の心」みたいな言葉を足したほうがいい。
- ④だったら目を通そうかなと思う。「知のテーマパーク」の「知」の部分がちょっと堅いので、忌避感があるかもしれない。「「としょかん」へ行こう！」と③の「みんなが、楽しく、便利に、つながる」くらい。小学校1、2年生で習う言葉くらいだったら、目を通そうかなと思う。
- 「区民の心のテーマパーク「としょかん」へ行こう！」というのはいかが。
- 1週間くらい前に新聞の投稿欄に「ワンダーランドの図書館」というのがあった。
- この四つからであれば④の「知のテーマパーク「としょかん」へ行こう！」だと思う。「知」は、堅苦しさもあるかもしれないがそれはそれでいいのではないかな。
- 図書館には心も知もある。だから両方入れていい。海外の図書館に行ったときに「Read」「Learn」「Discover」が三つ並んでいるのを見てちょっと感動した。
- この中で選ぶとすれば④。多少言葉を変えるにしても、④がいいと思う。サブタイトルは③がいい。「知のテーマパーク」っていう発想がいい。後半はなくてもいいのではないかな。
- 短く、やさしく、幼児も年配の方も覚えられる、わかるものもいい。前の、人生大学のキャッチフレーズが「今こそ前へ」という素敵なキャッチフレーズだった。短くまとめて、やさしく、インパクトがあるものが良い。

・意見交換の内容を参考に、基本計画のタイトルについては事務局で引き続き検討する。

3 次回の予定

・次回の会議は令和6年2月6日（火）午後2時開催。会場は江戸川区立中央図書館視聴覚ホールとする。

4 閉会



議事の様子

□委員構成

学識経験者	2名
書店関係者	1名
学校関係者	2名
地域関係者	4名
江戸川区民	4名
江戸川区職員	3名
図書館職員	2名

欠席 4名（学校関係者1名、江戸川区民3名）

□傍聴者 7名

□配付資料

【資料1】（仮称）江戸川区立図書館基本計画（案）